

IGF2023に向けた国内IGF活動活発化チーム

第34回会合 発言録

2023年5月15日

【加藤】 皆さん、こんにちは。予定の時間になりましたので、第34回のIGF活発化チーム会合を始めたいと思います。

皆さん、お集まりありがとうございます。それでは、今、山崎さんから出していただいたアジェンダ案に沿って進めさせていただきたいと思います。

まず前回、今回も同じようなアジェンダだったわけですが、前回の宿題事項というのは、今後の9月頃を目指した今年度の日本IGF会合の準備を引き続き進めるということが挙げられていたと思います。それは後で触れたいと思います。

ということで、まず飯田様、総務省の方は今、御参加いただいていますでしょうか。どなたかいらしていらっしゃいますか。

【山崎】 データ通信課の方は御参加いただいていますけど、飯田様の部署の方が。

【加藤】 いらしていないですか。

【山崎】 どなたもいらしていないですね。

【加藤】 データ通信課の方、どなたかアップデートいただくようなことはございますか。

【森下】 総務省データ通信課の森下と申します。お世話になっております。

申し訳ありません。飯田が海外に出張中のごさいますて、今回は欠席かなと思います。飯田の担当の課にこれから追って確認させていただきます。

それで、大変恐縮ではございますが、データ課から何か皆様方に御共有できるような情報はない旨、お伝えさせていただきたいと思います。

【加藤】 分かりました。ありがとうございます。

10月の京都に向けて、何か準備状況とか、総務省様でお分かりになることがあればということですので、後からでも結構です。思いついたこととか、飯田様の部署から、後で参加された方から頂くということでも結構だと思いますので、よろしく願います。

【森下】 かしこまりました。よろしく願いいたします。

【加藤】 では、河内さんはいらしていますか。今日は御参加いただけると伺っていたと思うのですが。よろしく願います。MAGのほうから何かアップデートがあればお願いいたします。

【河内】 特にはないですが、来週の火曜日の夜、バーチャルでMAGの会議をやるという連絡が来ていますので、恐らく今週末がワークショップの提案の締切りなので、その状況とかもそこで報告してもらえないんじゃないかと。まだ締切りのすぐ後なので暫定的かもしれないですけど、

そこで何か報告とか情報とかが少しもらえるんじゃないかと期待しています。それが5月23日ですね。その次はもう7月の会議になるんじゃないかと。正式なMAGの会議としてはそうなるんじゃないかと思います。すみません。その程度しか今回ないですけれども、よろしいでしょうか。

【加藤】 ありがとうございます。今週末にセッションの申込みが締切りになって、その後、締切りの日程の変更とか延期とか、そういうことはないのかなと推測するのですけれども、その辺は伺えますか。

【河内】 それはちょっと別件があったときにアーニャに聞いてみたんですけど、今回は要するに会議自体が結構早いので、10月なので、そこはスケジュールがすごくタイトなので、今回は延期は難しいと思うという話を事務局内ではしているとはっきり言われました。なので、今のところ延期はしないという方針だと聞いています。

【加藤】 分かりました。ありがとうございます。もし延期がなしということになると、今週末、日本でも含めて出したものが最終になるとすると、来週火曜日、どれぐらいの応募があったとか、そういうお話をされると思うんですが、またそれは適時、フィードバックを頂くとして、7月の会議との間にMAGが実際、作業をスタートすることになるんですよね、きっと、選定の内容は。

【河内】 そうですね。去年の例だと、去年も7月の初めにMAGの会議がジュネーブであったんですけど、その前、多分6月の中旬ぐらいにMAGに割り振りが来て、あなたはこのテーマの何番から何番を、グループごとなんですけど、ちゃんと提案書を読んで、ちゃんと評価をつけて、事務局に提出して、提出した評価を事務局であらかじめ全部、集計した上で、その結果とともにジュネーブで議論を行うということをやったので、多分そういうふうになると思います。

【加藤】 ありがとうございます。分かりました。

皆さん、河内さんに御質問、御要望等ございますか。特に質問はございませんか。大体、今、スケジュール感はもう見えてきたという感じだと思いますので、もしあればですけど。まだ最後の追い込みの申込みを準備されている方も多いたと思いますが、よろしいでしょうかね。

それでは、もしあればまた河内さんに後で御質問いただくとして、次に移りたいと思います。日本IGFタスクフォースの御報告ということで、前村さん、お願いしてよろしいでしょうか。

【前村】 前村です。簡単に。

今、セッション提案の受け付け中ということがありまして、5月19日までということで、タスクフォースのメンバーで、ワーキンググループという形でいろんな方に入っていただくということで、といっても、そんなに劇的に人が増えているわけではないのですが、そちらでどういう提案を、出すことを画策しよう。自分たちで書いたり、人に書いてもらったりということをお願いしていたりというふうな活動をやっています。それで4月27日に、ここに書いてありますけれども、セッション提案チュートリアルという催し、Zoomミーティングだったのですけれどもやりまして、IGFというのは何なのかとか、あとは、どういうセッションが、どういう形で申し込めるのかとか。小林茉莉子さん、aoちゃんが、前にアプライした経験があって、それで採択されてセッションで

きているので、そういった経験を基に、いろんな作戦を伝授するというふうな感じでやってもらいました。

その結果、幾つか、既にこういうチュートリアルをやりますよということで御案内した方々にも御参加いただきました。例えば海賊版対策のグループであったり、あとはJAIPAさんのいろんなアクティビティーの中からというふうなこともありました。幾つか具体的な提案を目指した動きがあるように見えています。全部で20セッションぐらい、そういうふうな企てをして、それが全部出せるかとか、出したものが全部通るかというのはまた別の問題なんですけど、そういうふうな形で活動いたしております。ということが、タスクフォースの今の状況だと思います。

以上です。

【加藤】 ありがとうございます。

私もタスクフォースに参加させていただいているので補足しますと、今朝も実はそのワーキンググループで、セッション提案について、今これぐらい準備中という確認のミーティングをやったのですけれども、20ぐらい候補があったうち、今、10前後ですかね、出そうな雰囲気があるのが。

【前村】 そうだと思います。具体的にになって見えているのはそんなものかと。

【加藤】 見えているのは10ぐらいですかね。そのうち、かなりは提案されそうだという雰囲気、それぞれ最後の追い込みで。まだどれも、出したという状況ではないけど、ほぼ出す直前まで来ているかなという雰囲気です。理解していますが、そんな感じですね、前村さん。

【前村】 そうですね。

【加藤】 それ以外にタスクフォースとして、例えばアウトリーチを含めて、あと5つの団体以外へのいろいろな働きかけみたいなのは、何かアップデート。

【前村】 そちらのほう、アップデートできるぐらいに進捗があるといいなと思っているのですけれども、動く手があまり、そんなにたくさんはないということで、ちょっと後回しになっております。提案活動がひとしきりたったら、この次には新たな、これから先の10月に向けた活動のために会員を募っていくというようなことが必要だろうなと思っています。

【加藤】 ありがとうございます。

あと、タスクフォースの場で、今後ということで同じように議論したことで、実際の京都に向けて、いろんなサイドイベントとか、いろいろ京都を盛り上げる活動をしていかないといけなくて、その辺を具体的にどうしようかということが議論されましたけれども、1つは京都での、まずサイドイベントという場合に、ガーラディナーがどの日になるかとか、その辺によって、実際の場所の予約や、いろんな企画が具体化しにくいというのがあって、このこともタスクフォースで、次回以降でなるべく早めに検討しましょう、決めましょうという動きになっています。同じようなことを、この活発化チームでも何か御提案があれば進めていただきたいと思います。

ということで、まず前村さんへの御質問、あとタスクフォースに関して御質問はございますか、皆さん。特にございませんか。

【前村】 飯田さんがお入りになっています。

【加藤】 ありがとうございます。もしあれば、今の話の前提として、飯田様にぜひ、もし今まで京都に向けての準備状況とか、アップデートいただくことがあればと思います。飯田さん、よろしいでしょうか。お願いいたします。

【飯田】 すみません。ちゃんとフォローできていないかもしれないのですが、御案内のとおり、先々週ぐらいまでG7ばかりやっけて、IGFのほうは、取りあえずセッションの提案というのを内部的にも検討しています。やっぱりホスト国として、それなりの数の提案をしようということで、省内とか関係省庁にも一応話はしているんですけど、実際には応募してみないと分からないというところで、今、皆様と同じように、提案書をどういうふうに仕上げようかなという段階です。

あと、Parliamentary Trackとか、面倒くさそうなところを少しずつ今進めてはしまして、それはそれで事務局側とも相談をしてやっているので、全体的なことという、今、ガーラディナーのお話もありました。多分、Day1に何かやるんだと思うのですが、まだ正式に確定してはいないので、なるべく早く検討を進めたいと思っています。

先ほどのG7の中でもインターネットガバナンスを今回取り上げていましたので、宣言を見ていただくと、G7で、みんなで協力して日本のIGFをいい会合にしようということは、みんな合意してもらって、そういう意味で、例えばアメリカのDFI、Future of Internetとか、あるいは偽情報対策ですとか、そういうのを、もちろんG7だけでやるわけにはいかないとは思いますが、積極的に参加してもらってやっけていこうということで、これからそういう計画も少しずつ立てていきますので、結局、政府関係者で相談しても、最後やる時はマルチステークホルダーでやらなきゃいけないし、皆さんと共有しながら実行に向けて準備したいと思っていますので、ちょっとその辺は整理しながら、また共有させていただきたいと思っています。

ということで、すみません。ちょっとまだ具体的な準備は、これから会場の設定とか、いろんな細かいところをフォローしていただく会議、何というのかな、サービスプロバイダーさんの業者さんが大体決まってくるので、そうすると、また細かいいろんな打合せもできると思いますので、またそれは来週以降ぐらいに情報提供しながら御相談していければと思っています。取りあえず今日はそんなところでございます。

【加藤】 ありがとうございます。皆様、いかがでしょう。御質問がいろいろあるのではないかと思います。御質問や御意見があればよろしくお願ひします。特にないですか。

もし、すぐ手が挙がらなければ、飯田様、ちょっと一、二件伺ってよろしいですか。先ほどガーラディナーが多分第1日目というのは、そういう感じで動いているということで、それでは1日目をなるべく避けて、今いろいろ検討するという感じでよろしいですかね。

【飯田】 そうですね。いろんな動きというのが、ハイレベルの人たちの都合とかで変わらないとも限らないのですが、普通に考えるとDay 1の夜に何かあるのが普通だろうとは思っていますので、一番可能性が高いのはそこだろうと思っています。

【加藤】 ありがとうございます。そういうイメージですね。

それで、それに関連しているところから御質問があって、特にサイドイベントの関係でイメージを教えてくださいとありがたいのですが、まず国際会館の会場はもう全て総務省様や関係者で押さえられていて、総務省様以外というか、そういう方々以外が場所を確保するということとはできない状態なんですかね。あと、同じようにプリンスホテルのほうの利用の可能性とかはあるのでしょうか。

【飯田】 国際会館の中は、もう完全に公式プログラムなので、サイドイベントをやることはできません。

【加藤】 そうですね。

【飯田】 プリンスのほうは、宿泊施設としては使うのですが、それ以外の会議施設等を予約しているということはありませんので、別途、資金調達も含めて独自に使っていただくのは可能だと思います。

【加藤】 分かりました。それは各自、企画したい人がいれば場所を確保、プリンスホテルのほうに聞いてみればいいということですよ。

【飯田】 そうですね。ですので、プリンスに限らず外でということになると、独自にアレンジしていただくことになります。

【加藤】 プリンスと国際会館以外の場合、足の確保というのが結構、どこにするかによって足の確保が大変なのと、今日、タスクフォースのときにもそういう話があったのですけれども、結構この時期、旅行客も増えてきて、いろいろメジャーな場所の確保が難しくなりつつあるので、早めにやりたいというような声がありましたので、その辺も皆さん、早めに検討するように声をかけていく必要があるかなと思います。

【飯田】 よろしくお願ひします。

【加藤】 それと、政府のほうでもセッション提案をお考えということですが、どういう方向でお考えとか、タスクフォースで検討していることとかぶるとか、そういう感じは、あまり心配なくていいんですかね。というのは、セッション提案の場合に、項目もさることながら、先ほど御指摘があったように、マルチステークホルダーで提案するというか、具体的にどういう人が参加するのかも書くというか、その辺を見せていく必要があると思いますので、セッション提案のときに、内外いろいろな方にもう既に声をかけていらして、大体絞りつつあるというスケジュールでやっっていっちゃるということなのではないでしょうか。

【飯田】 いや、登壇者とか、そういうレベルで調整しているということはないです。ただ、テーマ的に、現状で、特に総務省として重要と考えているテーマを列挙していくような感じになると思いますので、そういう意味では、G7の閣僚宣言に挙がってきているような項目に近いものが、かなりカバーされると考えていただいていいのかなと思います。

【加藤】 分かりました。そうすると、今回、8つのサブテーマとか、そういう形でIGFから出ているものと、またちょっと違った視点で、もちろんどれかに関係しているということなのでしょうけど、違った視点でそのテーマを提案するというアプローチなのではないでしょうか。

【飯田】　そうですね。8つのテーマをそれぞれ割り振って設定するというよりは、もちろん何をやってもあの中に落ちると思いますので、我々としては、逆にそこは後づけでしかなくて、総務省なら総務省、あるいはほかの政府機関なら政府機関の観点で、重要と思われるテーマを挙げるといえることになると思います。

【加藤】　分かりました。ありがとうございます。なぜこういう質問をさせていただいているかというと、活発化チームとかタスクフォースのほうでも、それ以外にもセッション提案をお考えの方がいると思いますので、政府のほうでということをお考えの場合に、ではそういうことを、ある民間なりテクニカルコミュニティなりという立場からも、ぜひ参加したいとかという方が出てくるのかなと思ったものですから、もしそういうものが見えてくれば、その段階で教えていただければということです。

【飯田】　恐らく、応募する段階で調整するのは難しいと思うので、それぞれに応募して、結果を見ながらちょっとまた、その辺は相互補完的にできればと思います。

【加藤】　分かりました。ありがとうございます。

私ばかり質問してすみません。ほかの方々、いかがでしょうか。河内さん、よろしく申し上げます。

【河内】　飯田さん、横澤がパリでお話しされたとかと今日言っていて、先ほども話になっていましたけど、サイドイベントを仕切るような人とかグループとか、そういうのがないから、そういうところを協力してほしいみたいなことを言われたと言っているんですけど、大体、サイドイベントって仕切るものなのかとか、その辺がよく分からなくて。横澤が言っていることと違うことを飯田さんがおっしゃったんじゃないかという気もしないではないのですけれども、その辺は何か、例えばこのグループ、活性化チームとか、それからタスクフォースのほうとか、そこで何かやるべきことがあるのかとか、そういうところは、もし何かお考えとかがあれば伺えればと思ったのですけれども、いかがでしょうか。

【飯田】　すみません。ちょっと何か誤解があったかもしれませんけれども。

【河内】　ですよね。

【飯田】　サイドイベント全体を仕切るというのは多分ないと思いますので、パリではコーヒーブレイクのときぐらいしかお話しする時間がなくて、結構いろんな方と矢継ぎ早にお話ししたのであまりはっきり覚えていないんですけど、個別のサイドイベントについては、さっきのお話のとおり、それぞれの責任で、場所の確保から企画からやっていただく必要があるということで、それが、全体を誰かが端から端まで責任を持ってやるというふうにお取りになってしまったのかもしないのですが、サイドイベント全体を誰かが調整するというのは、やっていただいても構わないのですが、多分、不可能なので。

【河内】　無理ですよね、多分。

【飯田】 ええ。決してそういうことを期待しているということはないです。タスクフォースの場で、それに近い話合いがされるのはもちろん歓迎ですけれども、別に拘束力があるとも思いませんので、そこはむしろ皆さんの自助努力でそれぞれやっていただければと思います。

【河内】 今朝のタスクフォースでも、例えばこんなふうにやったほうがいいよとか、いろいろアドバイスしたりサポートしたりとか、そういうことはもう既にやっていると思うんですけど、全てを仕切るということは多分不可能だと思ったので、よかったです。ありがとうございました。

【飯田】 何か誤解があったようであれば申し訳ない。

【河内】 いえいえ。

【加藤】 ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。御質問。

【山崎】 木村さんからチャットで来ているんですけど、「ガーラディナーは10月8日ということですか」ですが、これはまだはっきりとは決まっていらないんですね。

【飯田】 そうですね。特に確定させたことはないです。

【前村】 前村ですけど、先ほどのお話で、8日というのはたしか日曜日ですよ。

【加藤】 そうですね。

【前村】 日曜日はDay 0なので。

【加藤】 Day 0ですね、きっと。

【前村】 ここにガーラが来るということは恐らくはないのだろうと。

【加藤】 9、10、11、12の4日間が通常の日程ですね。だから、Day1だとしたら、9日の月曜日ですかね。

【前村】 はい、Day 1だとしたら。

【加藤】 可能性が高いのがね。だけど、それもまだ未確認だということで、絶対これということではないという。ただ、イメージとしては大変貴重な情報ですね。

ほかの方、いかがでしょうか。

今のサイドイベントの関係で、今、木村さんに御発言いただいたのであれですが、私の理解では、JAIPAさんや京都の学校関係の方でサイドイベントを考えているというのはいろんなところでお話を伺ってまして、先日、G7の会合の場で、G7のサイドイベントということで、Chengetaiさんがいらした会合に私も参加させていただいたのですが、そのときにChengetaiさんに対して、そういうサイドイベントをぜひやりたいというようなこととお話しされているような動きもありました。その辺も少し決まる段階で、決まりつつあれば、こういう場でも分かる限り共有していただいて、皆さんたくさん参加されればいいのかと思います。

その動きと、もう一つ、あと今朝のタスクフォースの場でもそういう話が触れられたのですが、ISOCということで、Youthの方がISOC経由で何かやりたいということを考えているという話もありました。もし、ほか追加で、こういうことを日本の中で企画されているような動きがあれば

ば、御存じの方があればあれですけれども、そういう情報があれば、なるべく共有して、皆さんで盛り立てるようなことがあったらいいのかなと思っております。

ほか、何か飯田様に対して御質問、御意見はありますでしょうか。よろしいですか。

では、飯田様、ありがとうございました。もし引き続きお話を伺って、さらに質問等お受けいただければと思いますので、よろしく申し上げます。

【飯田】 ありがとうございます。

【加藤】 それでは、アジェンダに沿って、タスクフォースの報告の後ですね。その次、広報。今まさにこの話ですけれども、IGF2023の広報ということで、活発化チームとしてということではなかったのですが、たまたま私に声をかけていただいて、G7のデジタル会合、高崎での会合のサイドイベントとして、29日にパネルディスカッションがありまして、これは国連のIGFの事務局局長であるChengetaiさんと、それから、その事務局員であるアーニャさんがいらして、彼は国連のG7への代表団の一行ということでいらしたのですけれども、いい機会なので、ぜひこのGIFの京都会議を知らしめるべく会議をやりたいということでありました。

それで、今どんどん山崎さんを書いていただいているのであれですけれども、まず、Vint Cerfさんからビデオメッセージ。これは大変分かりいいといいますか、網羅的なビデオメッセージを頂いて。よかったのは、Vint Cerfさんのビデオメッセージが、英語でしゃべりながら、事前に頂いたので、総務省の方に大変御苦労いただいて、日本語の字幕をつけていただきました。したがって、皆さん参加された方は、日本語でそれを御覧になったということで、今後、このVint Cerfさんのメッセージはほかでも活用させていただけると思います。

同じように、まず会議の最初に、Chengetaiさんから、IGFとは何かという、歴史とか全体像、それから京都につながるお話を、パワーポイントを使って映していただいた。私の理解では、このChengetaiさんのパワーポイントベースのプレゼンテーションも、御本人から許可は頂いているのですが、今後いろいろ、IGFの活動の紹介のために、このビデオをぜひ使ってくれというふうになっております。これができてきた段階で、このChengetaiさんのお話と、それからVint Cerfさんのメッセージ、この辺を使わせていただきたいと思えますし、あと村井先生と、それから元のMAGの議長だったLynnですね。Lynnはニューヨークからビデオ会議で参加だったのですが、彼女もIGFのマルチステークホルダー会議の参加の重要性だとか、いろいろ歴史的なことも踏まえてプレゼンを頂きまして、この辺も今後、活用できるビデオになったかなと。全体で1時間20分ぐらいでしたが、いいタイミングで日本語の通訳を入れていただいたので、英語でそのままというのではなくて、非常に日本の方にも受け入れやすい進め方をしていただいたのかなと思っています。繰り返しになりますけれども、そのビデオなりパワーポイントを、うまく今後、同じようなイベントで活用いただいて、もう本当に少人数でそれを見ていただくとか、いろんなことにできると思いますので、ぜひそういう材料があるということを入れていただければと思います。

これについて、もし総務省さんからも何か追加でコメントなりございましたら、お願いしたいと思えます。いかがでしょうか。

今、立石さんのお名前を拝見しました。後で参加されたと思います。立石さんも聞いていた
いたので、何かそのとき付け加えることとか、先ほどちょっとサイドイベントのことに勝手に
触れさせていただいたのですが、そういうことも含めて、何か頂ければと思います。

【立石】 大体おっしゃっていただいたので、特にということではあるのですが、先に
高崎に私も行って拝聴させていただきました。そういう意味で皆さん、初心者向けというか、気
にされて、分かりやすい話が多かったのかなと思います。入り口としては、いいマテリアルだと
私も思います。

あと、その他サイドイベントは、私は一応、京都の両方、大学院のほうも、それからJAIPAのほ
うも両方関わってしまっていて、両方とも、大学院はちょっと独自ではあるんですけど、ちょうど60
周年ということもあって、60周年記念にかけて、ちょっとサイドイベントをやるといふふう
に動いています。それで、こっちのほうは、SIGという、School on Internet GovernanceというDynam
ic Coalitionがあるのであるのですが、そこと一応連携するという形で、60年記念事業とは別な
のですが、SIGとやるということも動いていますというのと、あとJAIPA独自ではないのです
けれども、協会で考えたときに、ほかの団体さんなり、個人でももちろん結構なのですが、一緒
にやっていただけるといふところがあれば、協賛なり後援なりしていただけてやろうかなと思
います。

ただ、先ほどの日程も含めて、まだロジ周りが決まっていなくて、さあ、どこまでどうしたも
のかという、まだ動いていない状況ですが、そろそろ会場を含めて決めないと、京都が大分混み
始めているという感じがしますので、焦り始めているという感じのところですかね。私は以上
ですが、堀田さんから手が挙がりました。

【加藤】 堀田さん、お願いいたします。すみません、私は手を挙げていらっしゃる方が見え
ないので。

【堀田】 堀田です。途中から入りました。

私も、高崎の（パネルディスカッション - Toward IGF2023 at Kyoto）を1時間ちょっと聞いて
いたんですけど、とてもよかったです。あと、村井さんからも、日本にとってどう大事かとい
うのを分かりやすく説明していただけたので、あれは加藤さんがおっしゃるように、いろん
な場で使えるかなと思いました。このマテリアルは、もうオンラインで公開されているん
ですかね。

【加藤】 私はまだ公開したというのは聞いていないので、確認次第、公開されたらネット
で御報告します。

【堀田】 ありがとうございます。

【山崎】 以前、総務省の飯田さんと同じ部署の方に確認したところ、追って公開する予定
だと伺いました。字幕をつけるので、お時間は頂くことになるでしょうということだった
と思います。

【加藤】 頑張って本当に、Chengetaiさんの部分とか、Lynnさんの部分も日本語をつけて
いただくというふうには最初は伺っています。臨場感といいますか、英語でしゃべってら
っしゃる

のが聞けながら字幕がつくというのは非常に、こんなイメージなんだというのが分かるという意味でも、貴重な資料になるんじゃないかとおっしゃっていました。

高松さん、お願いします。手を挙げた方はぜひ、挙げていますとか、もう遠慮なくしゃべり始めてください。

【高松】 ちょっと違う話題になるんですけど、IGF2023の広報という、しかも活発化チームとしてというのではない部分にはなるのですけれども、ローカルホストのウェブみたいなあたりは、いつ頃立ち上がるかみたいなのを、もし今日参加されている方とかで情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら教えていただけたらなと思っています。結構、海外の方は、ビザの手続とかというので、IGF本体からのレターが、過去の開催とかだと必要だったりしていて、どこを見ればいいんだろうという話と、いつ頃からそういうのが分かるんだろうあたりをちらほら気にされている人を見かけるので、もし決まったら共有いただけるとありがたいです。以上です。

【加藤】 ありがとうございます。これは飯田様、いかがでしょうか。

【飯田】 さっきお話ししたように、業者さんがそろそろ決まる頃でして、そうすると、ホームページを作っていただくこともその中に入っていますので、6月の後半ぐらいにはできたら思っていますのですが、まだこれからというところです。

【加藤】 河内さん、お願いします。

【河内】 今、その関連なんですけど、海外の人に同じく聞かれたので、航空券の何か割引プランとか、そういうのは出る予定なのかどうかと聞かれたんですけど、それは難しい？日本はあまりないかなと思ったんですけど、その辺は何か御予定があるかどうかはお分かりですか。これも飯田さんに伺うことになるのかな。

【飯田】 日本の場合、完全民間会社ですので、そういうのはちょっとないかと思います。

【河内】 ですね。分かりました。

【加藤】 航空券はまだしも、ホテルをブロックしてというようなことはやらないんですね。

【飯田】 こちらで招待するVIP向けにはやるのですが、それ以外の一般の方向けにはできないと思います。

【加藤】 分かりました。ただ、ホテルリストとか、そういうのは何か、いずれ、ローカルホストのウェブサイトには挙げられるというイメージでしょうかね。

【飯田】 そうですね。さっきお話しした、業者さんがホテルの情報を紹介するということはあると思いますが、確保するというのはちょっとないと思います。

【加藤】 分かりました。河内さん、よろしいでしょうか。

【河内】 大丈夫です。ありがとうございます。

【加藤】 私もホテルの状況を見ていると、どんどん、この頃ももう、ホテルが消えていくような、予約が難しくなっていくような雰囲気があって、やっぱり京都は今、観光としても人気な

ので、安くて便利なところというのは、かなり海外からの方には難しくなっていくのかなと、ちょっとその辺が懸念事項ではあります。

ありがとうございます。ほか、活発化チームとしてもそうですし、タスクフォースとしても、この広報活動というのは、あと何か皆さん、情報はありますか。こういう方がこんなことを企画して、例えばYouthに向けてこういうイベントを考えているとか。前、立石さんのグループで、Youthを意識してイベントをされたと思うのですが、何かそのような企画とか、企画したいというような御意見とか、そういうのはございますか。今は、今週特にセッションの申込みで、皆さんも大変なのかもしれないですけど、その後、そういうことももう一回やってみるのかなと思います。いかがでしょうか。

では、まず今のところ手が挙がらないので、また思いついた方はぜひお願いしたいと思います。

では、次のアジェンダ項目に移らせていただきたいと思います。「NRIとしての連絡先」という見出しになっていますけど、NRIの活動ということで、これは前回の4月24日の会議前後の動きを山崎さんをお願いしてよろしいでしょうか。大変申し訳ないんですけど、私は直前に急用ができて、その会議に参加できなかったのも、山崎さんをお願いする格好になったんですけど、お願いしてよろしいでしょうか。

【山崎】 簡単に御報告します。

加藤さんが参加できなかったということで、河内さんも参加なさっていただけ。ちょっと記憶が。

【加藤】 河内さんも直前に、何か今回、3人のうち2人抜けちゃって大変申し訳なかったんです。

【河内】 そうなんです。すみません。

【山崎】 そうですか。分かりました。確認だけです。ということで、私が参加したのですけれども、議題としては、最初、20分ぐらいかかりましたかね。全員が自己紹介して、それから、IGFの中で行われるNRIs Collaborative Sessionsですね。全部で3つあるのですけれども、そのトピックをどうするかというのを決めるのが主でした。自己紹介は毎回やっているのですけれども、自己紹介の時間が終わるの見計らって入ってくる人とかもいて、全員が自己紹介していたわけではないのですけれども、いろんな国からいろんな方が参加されました。

Collaborative Sessionsなのですけれども、8つあるサブテーマからどれを選ぶかということで、各NRIにアンケート調査をしまして、その結果、上位ということでした。それで、下に書いてありますけれども、我々にも来たのですけれども、御紹介してお伺いすべきところ、できていなくて大変申し訳ありません。その調査結果に基づいて、AIとエマージング・テクノロジー。それとサイバーセキュリティ、サイバー犯罪、オンラインの安全性。デジタルディバイドとインクルージョン。この3つになったのですけれども、4つ目がデータガバナンスとトラストということで、それは重要性が高いので、この3つに多少混ぜ込むとか、メインセッションでフォーカスを当てるとか、そういうことをしてもいいんじゃないかという提案がありました。

次は、各NRIに対してフォームがまた送られてきていまして、この3つのセッション及び、多分、メインセッションもそうだと思いますけれども、開催チームに、どれに参加しますかということをお聞きしています。

それで、5月、たしか来週月曜日だったと思いますけれども……。じゃないか。今日か。今日でしたっけ。今日ではないですね。来週ですね。来週月曜日に、またNRIの会議をやるのですけれども、そのときに運営チームを結成して、来月になったらもう実際に議論とか計画とかを始めるということなんです。

これは、ですから、どれに参加するかというのを皆さんにお伺いしたほうがいいと思うので、それは別途聞くようにします。だから、これに参加したいという方がいらっしゃったら、日本のIGFとしてそこへ参加するとかということをお提案するということになるのではないかと思います。

メインセッションについては包括テーマがありますので、それに焦点を当てることは可能ということなんですけれども、こちらについては、それほど時間をかけて議論したというわけではなかったと理解していますので、恐らく来週の次回の会合のときに、またこれについては触れることになるのではないかと思います。

前回のNRI会議についての報告は以上となりますけれども、何か御質問とかありますか。堀田さん、どうぞ。

【堀田】 NRIのセッションと、ほかのセッションで、もちろんテーマは同じだったり、大きく重なったりするんですけど、ほかのセッションと違ってNRIセッションというのは、その国の状況を交換し合うというのが主な目的になるんですかね。

【山崎】 NRIという性質上、そうだと思いますけれども。だから、国もしくは地域ということですよ。

【堀田】 そうですね。

【加藤】 堀田さんの御指摘のとおりだと思います。なるべく広くいろんな人から情報を出してもらって交換するというのが、中心的なことになると思いますね。だから、ワークショップのセッションと違って、何か問題を深く、誰かが、ある考えの人が特に強く主張するというよりは、あるテーマについて全体的な意見をなるべく交換するという立てつけになると思いますし、もともとの3つのエリアを選ぶ前にも、そういうような、広くみんなが参加できるテーマということで意見交換されたと思います。

【堀田】 ということですね。だから、このテーマに興味があるとか、そういうものではなくて、日本として、こういうテーマで動きがあって、ぜひ紹介したほうがいいものを選ぶということですね。

【加藤】 はい。

【堀田】 分かりました。

【加藤】 そういう性質が強いと思います。

【堀田】 ありがとうございます。

【加藤】 だから、これについて特に懸念があるアフリカのある国とか、そういうのがあれば、そういう人はぜひ手を挙げてくださいということになると思うんです。だから、国としての意見ということでは必ずしもないのですが、その地域特有の意見なりコンサーンがあればというようなのが、うまく情報交換できればありがたいというのがNRIの本来の趣旨だと思います。

【山崎】 ほかに御質問とか、ございますか。

【加藤】 ぜひ、こういうテーマならというので手を挙げていただくなり、参加していただくという。場合によっては聞くだけでも、結構いろんな情報が取れるのかなと思います。

山崎さん、別途これを、参加する方という形で、今日の議事録に加えて何か御提案しますかね。

【山崎】 そう思います。来週の会議の前に聞かないと、あまり意味がないと思いますので。

【加藤】 そうですね。

【山崎】 なるべく早く聞くようにしたいと思います。

【加藤】 来週の会議で決まりではなくて、日本からも何か興味があるよと言えば、1人のスピーカーに入れてもらえるチャンスは十分あるとは思うのですけれども。

【山崎】 そうですね。では、私からは以上とさせていただきます。

【加藤】 どうもありがとうございました。それでは、この件はよろしいでしょうか。

では、元のアジェンダに戻らせていただきたいと思います。

次は、「今後開催するイベント」ということで、これは前回申し上げたとおり、比較的少人数で、事前の準備委員会ではないですけれども、グループをつくって議論をスタートしたということで、今年であれば9月上旬ぐらいには、この会議をやったらどうかという話を今進めています。これは堀田さん、前回のリピートになるかもしれませんが、何かコメントを頂くことはできますでしょうか。

【堀田】 この活発化チームの会合自体にあまりたくさん参加できていないので申し訳ないんですけど、9月は意外とすぐそこだしということもあって、前回の反省事項も含め、きちんとやろうとすると、やっぱり……、きちんとというのはミニNRIっぽくやろうとすると、かなり大変だというのはもう理解できているので、今回はグローバルIGF本番に向けての助走ということで、テーマをみんなで知っていただくとか、こんな感じで話をするんだというのが分かればいいかなというので、あまり審査委員会を正式に立ち上げてマルチステークホルダーでコントロールするみたいなことは、やらないほうが結果的にうまくいくのだろうなと思っているというのが私の感覚で、今回集まっていたいただいた四、五人のメンバーもそんな感じじゃないかなというふうに見ています。

ありがとうございます。

【加藤】 どうもありがとうございます。高松さんも何かコメントがあれば、いかがでしょうか。

【高松】 特に付け加えるようなことはないかなと思います。

【加藤】 分かりました。ありがとうございます。

【高松】 イベントの中身というより、下の開催候補日程のところですけど、今回は、まだ19日まで募集中ということなのですけれども、内容自体は、IGF2023のセッション提案者の方たちをメインにお話しいただくようなことになるとと思いますので、その方たちの御予定を最優先に日程調整等を行う形になるのかなと思っています。以上です。

【加藤】 ありがとうございます。その日程についてなのですけども、御承知のとおり、8月最後の週から9月中のどこかでということと前回お話ししたのですが、できればここに書いてるように、9月4日の週あたりがいいのかなというふうに、今、議論が始まっています。というのは、8月の最後の週ですね、8月29、30、31が、APrIGFがオーストラリアのブリスベンであるということで、その週だとやっぱり重なってしまうこともあって、それ以降ということになると、9月の後半になってくると、もう10月の京都も直前になりますので、現実的には9月4日の週、週のもし後半であれば、6、7、8のあたりかなというのが、現実的な最有力候補かなという、今、議論が始まっています。もし個々にいらっしゃる方々で、この週は何かこういう会議なりがあって非常に問題だと。学校なんか9月に始まる最初の週ということで、いろいろ課題はあるかもしれないのですが、何かそういう御指摘を今日頂くことはありますでしょうか。

日程が決まると、いろんな準備もそれに向けて進めやすいということもあるので、ピンポイントでこの日ということにならないにしても、この辺かなという腹づもりができるといいなと思うのですが、いかがでしょうか。

【堀田】 堀田です。非常に個人的なんですけど、ICANNのDNSの会合が9月4日の週に入っていて、私自身はオンサイトではちょっと難しいかと思うんですけど、その会議に多分出るのは、この場にいる人たちの中で私だけだと思うので、進めていただいていいかと思います。

【加藤】 ありがとうございます。それ以外にこの週、何か、インターネット関連とか、IGFに近いところで会議とかぶさるといふ、そんな情報もお持ちの方はいらっしゃいますか。

突然振ってあれですが、実積先生のお名前を拝見したんですけど、学校関係とかで、9月4日、実質第1週というのは非常に問題とか、そういうことはございますかね。

【実積】 すみません。大学をイメージされていますかね。

【加藤】 ええ、大学とか。

【実積】 大学は9月末からしか始まらないので。私立大学は9月第3週で、国立が第4週ぐらいが普通だと思うので、その辺だったら大学は問題ないし、むしろ皆、夏休みなので、いないかもしれない。

【加藤】 いないかもしれない。なるほど。まあ、うまく声をかけて、参加できる方は個人の都合で参加していただくと。分かりました。ありがとうございます。

ほか、TECコミュニティでこういうのがあるとかというのは、さっきの堀田さんのICANNのDNSの会合ぐらいですかね。

ということであれば、これをちょっと有力候補ということで、事務局として、ボランティアグループで頭に入れさせていただいて進めるということと、もう一つ、これは中間的なあれですけども、さっき堀田さんからもお話がありましたとおり、これは10月の京都会議のステップとして、京都でやる、またはセッションを提案されている方々が中心に発表していただく会にしたいということで進めている方向性なのですけども、グッドニュースは、さっきも前村さんからもお話がありましたとおり、IGFのタスクフォースの状況を見ても、かなり応募する動きがあるということで、恐らく、この会議にテーマとして発表する方の数が足りなくなるということはないのかなというような印象を持っています。そういう意味で、ある程度充実した、幅広いテーマをこれで選べるのかなと思っています。

あと、山崎さんや前村さん、この点について付け加えていただくことがございますか。

【山崎】 私からは特にございません。

【前村】 私からもないのですが、9月4日の週で、共有イベントカレンダーみたいなものもあるんですけど、WIDEプロジェクトの合宿というのと、あと、これも京都なんですけど、APNICのカンファレンスが、カンファレンスウィークが10、11、12、13という感じでやるのですけれども、ワークショップが始まっていますね。なので、ワークショップに出るような人たちは、ここでかぶるんですけど、恐らくは多分大丈夫だろうと。私自身も、ワークショップまでローカルホストとして面倒を見るという必要はないと思いますので、アベイラブルだと思います。

【加藤】 山崎さん、事務局を京都でやりましょうか。現地開催。

【山崎】 なかなかそれは魅力的ですね。

【加藤】 もし立石さんがまだいらっしゃれば。

【立石】 います。

【加藤】 立石さんに、場所の会場を貸していただいて、立石さん会場か。

【立石】 場所は多分、広い部屋でなければ押さえられると思います。

【加藤】 いつもそんなに、会場はせいぜい10人とかが参加できれば、基本的にリモートであれば可能なので。

【立石】 リモートは基本的に大丈夫なので、駅前でも百萬遍でも、どちらでも多分大丈夫だと思いますが。

【加藤】 そうすると、先ほどのAPNICの会合とも、うまく整合性が合うんですかね、その時期で。

【立石】 なるほど。

【加藤】 いや、それで急に京都と思ったんですけど。

【立石】 そうですね。場所は何とかなると思いますよ。

【加藤】 分かりました。ちょっとそういうことも、逆にセッションに実際参加される方が、リアルの参加をしたいけど京都には行けないというようなことが見えてきたら、それはそれで問題なので、これはまだ、あくまで可能性がゼロではないというだけだと思えるのですけれども、ちょっとその辺もボランティアグループで議論させていただきたいと思います。

ありがとうございます。もしこれに追加がなければ、今年もやるということで、引き続き検討させていただきたいと思えますし、皆さんからもインプットを頂きたいと思えます。

それから、次のテーマは、今後、継続議論になっている点ですね。今のところ具体的な提案がないので、もし今後、活発化チームの会合を、もっと自主的なこともやりたいということで具体的なことがなければ、今日のテーマとしてはスキップしたいと思えますが、何かこの点、ご意見をどうでしょうか。よろしいですか。

実際は、先ほどからお話のある、活発化チームとしていろんなところに働きかける、京都会議の啓蒙を含めて働きかけるというような活動とか、そういう具体的なアクションが続いているので、当面はそういうことかなと感じています。

ということで、次、今後、活発化チームの主催、こういう団体のままでよいかということですが、特にこれも変化なしということで、先ほどの、今年のもし9月の第1週にやるとしたら、そのセッションも前回と同じ形でいいんじゃないかという流れに今なっています。

ということで、大体、本日のテーマはこれで全てカバーしたと思えますが、何か忘れたこととかございますか。

ちょっと、勝手にまた名指しで振らせていただいて恐縮なんですけど、今、総務省の岡崎様のお名前を拝見したんですけど、岡崎様からG7に関して大変御努力いただいたのですが、何かコメントとか、今のお考えとか、頂くようなことがもしあれば。急に振って恐縮なんですけど、いかがでしょうか。特にございませんか。もしなければ、次に移らせていただきたいと思います。

一応、アジェンダアイテムはこれで終わりなのですけれども、何かこのことを議論しておきたいとか、どなたかに伺いたいとかいうようなことがございますか。

ごめんなさい。岡崎様から、ちょっとミュートになっているか何か、声が全然聞こえないのですけれども。

【山崎】 山崎ですけれども、システム上はミュートが外れているのですが、音声は聞こえないので、多分、デバイスレベルで音が出ていないみたいですね。

【岡崎】 これで届きますでしょうか。

【加藤】 聞こえました。

【岡崎】 すみません。話したんですけど、ヘッドホンがよくない状態だったようで申し訳ありません。

初めてこの会合に参加させていただきます、岡崎と申します。よろしくお願ひいたします。G7のイベントについては、直前でばたばたとしたしつらえだったんですけど、加藤さんにもモデレーターをしていただいて、大変ありがとうございました。

ちょうど今日、Zoom配信もさせていただいたのですけれども、その画像、映像を受け取りましたので、そちらを編集して、英語の部分は、新しく英語でインターネットガバナンス関係の議論をしたい方用のいい教材になるかと思ひますので、日英の訳とか字幕とか極力つけて、教材としても使えるような形でアーカイブを載せたいと思ひます。アーカイブの画像を載せることについては、もうIGFの国連の事務局のほうに、ファイルを送ったら載せてくれるというふうにオーケーをもらっているの、適宜、作業を急いでやりたいと思ひます。

その上で、ちょっとG7から外れるんですけど、次回の打合せが6月12日ということで、それまでの間に1回、ちょっとG7で止まっていたのですけれども、IGFの事務局と、本格的な中身も含めた打合せを、総務省と国連のIGFの事務局で進めることとして思ひますので、6月12日までには1度は会合を持てると思ひますので、次回はその様子なども含めて、この場で報告をさせていただければなと思ひております。

短いんですけど、以上でございます。いらっしゃる皆さん、よろしくお願ひいたします。

【加藤】 どうも、大変ありがとうございました。本当に岡崎さんに頑張っていたいただいて、いろいろ字幕をつけて、会議の模様を皆さんに使っていただけということで、今のお話のとおり、これで、日本語の字幕のついた会議の皆様のスピーチを、あれですね、IGFの事務局のほうで、グローバルに見られるようなウェブサイトにも上げていただくということですね。

【岡崎】 はい、ユーチューブのIGFの公式チャンネルに上げていただくようにお願ひしておきましたので。

【加藤】 そういう意味であれば、世界中からも、こうやって日本でもやっているというのをさらに見ていただいて、Vint Cerfさんのコメントの最後に、日本で、京都でぜひ会いましょうなんていうことをおっしゃったので、結構よかったですと思ひますし、村井先生の、先ほど御指摘があったとおり、なぜIGFが日本にとっても重要かというのを、逆に英語にしてそれが流れるということも、いろんな意味で刺激的かなと思ひましたので、大変、出していただくのを楽しみにしております。ありがとうございました。

ほか、皆様、何かございますでしょうか。御質問や、何かございますでしょうか。

もしなければ、今日はこれで閉会とさせていただきますと思ひます。次回は、ここに書きましたとおり、6月12日月曜日の同じ時間ということで、もうそのときには、日本からのサブミッション、セッション提案も終わっているということで、いろいろその辺の情報共有を中心にさせていただきますと思ひます。

【山崎】 すみません。最後、「その他」のところに書いたのですが、チャット記録の公開について決めたいと思ひます。

【加藤】 そうですね。失礼しました。

【山崎】 メーリングリストでちょっと議論していただいています、これについてこの会で決めたいと思うんですけど、よろしいでしょうか。

【加藤】 ぜひ。

【山崎】 議事録、発言録で、録画をみんな、このチームでは公開しているのですが、唯一チャットだけは扱いが決まっていなくて、公開していなかったのですが、議事録の確認の際にチャットを参照される方がいらっしゃって、それであればチャットも公開したほうがいいんじゃないかと思ひまして、皆様にお伺いしたいのですが、今後、活発化チーム会合で発生したチャットの内容を全て公開することとしてよろしいですかというのが、最初、1つ目の問いかけになります。

もう一つは、公開する対象ですね。今後、だから多分、今日の会議からだと思うのですが、今日及び今後の会議だけを対象とするか、過去に遡って全てとするかというところが、2つ目に決めていただきたい点になります。

3つ目は、議事進行上、チャットは全て発言とみなしてよろしいですか。ですから要するに、普通に音声で発生した発言と同じ扱いとしてよろしいですかという3点になります。

これで、この3点について、もし御意見があれば頂ければと思うんですけど、いかがでしょうか。

【加藤】 どうもありがとうございます。堀田さん、お願いします。

【堀田】 実積先生も書かれて、私は公開賛成ですと書いたんですけど、積極的賛成というのではなくて、チャットに書いたのにそれがどこにも残らないのは嫌だという人がいるのであればそれは出せばいいんじゃないですかという程度の話で、チャットはあくまでテレビで言う副音声とかと一緒に、議論自身の進行の中に組み込むものではないと私自身は考えています。つまり、それを議長が全部拾いながら、リアルタイムでしゃべったのと同様に扱うというのは、はっきり言って無理だと思うので、単に記録として一緒に公開しているだけという程度であれば、出すのがいいんじゃないでしょうかというふうに書きました。

以上です。

【加藤】 実積先生、お願いします。

【実積】 この会議の会議録を、初め、公開するように頼んだのは私だと思うので、一番初めのときの気持ちで言いますと、なぜ公開してほしいかという話をすると、途中から話に参加した人が全く過去の経緯が分からないし、誰に聞いたらいいか分からないし、議事録がなかった。それではさすがに、新規にこの議論に参入しようとしている人にとっては不親切で、いかにもこの会合のクローズさというのを強調するだけなので、IGFというものが、NRIでしたっけ、それを作るのを将来の目的にするのであれば、議論への参加をオープンにするという観点から合併公開をお願いしたいというのがあります。その意味で、この場で議論されたこと、あるいは現場でやったのだったら、ホワイトボードに書いたことを含めて、全部記録に取って公開するのが一番いいんだろうなと思います。その意味では、チャットを隠す意味は多分ないと思います。

それで、過去のチャットについてはどうかというと、多分、過去のを含めて公開してくれと言うと、それは嫌だという人が出てくるので、今後のものについて全部、公開してしかるべきだと思っています。

その上で、議事進行上どうかという話になると、一番初めに会議の内容を公開してくださいとお願いしたときに、議事録まで作ると思っていなかったのか、議事録が要るのかもよく分からなかったんですけど、この会議は議事録をもって、前回はこういう意思決定がありましたと、記録に取っているということだと思えるので、議事録に何を反映させるかというのが重要になってくると思いますが、今の加藤さんが議事をやっているという状況だと、チャットと発言を両方見て意見を集約するというのは、多分1人だと難しいと思います。そういう意味で、チャットは別に公開はするのだけれども、それを議事に反映するかどうかは、しゃべってもらわないと議事に反映しないということをここで決議されたほうが、運営上はやりやすいのかな。チャットを含めて全部集約してまとめて議事録にするというのは、ほかの参加者全員にチャットを見ておけという話を強要するので、それはさすがに無理だろうなと思います。

そういう意味で、この間、メールの中で、チャットの内容を反映していないのはおかしいという意見は、僕は筋違いだと思っていて、チャットの内容を反映したいのであれば発言すべきであって、参加している全員に対して、チャットを見てそれに対して反応しろというのを通常は義務づけられないので、それは多分違うだろうなと思いました。

以上です。

【加藤】 ありがとうございます。ほかに御意見はいかがでしょうか。

私はこの議論を拝見していて、非常に初歩的な質問を、二、三の方にさせていただいたんですけど、まず、今のZoomの場合、チャットでこれは全員にとありますけど、今議論しているのは全員に向けたチャットで、誰々さん、ちょっと声が聞こえていませんよと個別にメールしたりするのはチャットで外すという前提だと思うんですけど、それはよろしいですよ。

それで、山崎さん、チャットで誰向けと誰向けという、全員向けだけ拾って、それを議事に残すみたいなことはできるんですか。

【山崎】 逆に、全員向けのものしか記録として残らないですね。個別に何々さんと何々さんが一対一でやったチャットは、チャットログには残らないです。

【加藤】 右側の、ミーティングチャットというところには、その人のものしか、やり取りした人しか見えないから、議事録というか記録にはそれは残らないということですか。

【山崎】 それは出てこないですね。全員向けにされたチャットしか出てこないです。

【加藤】 分かりました。

【山崎】 ですから、その心配は要らないというか、私から加藤さんに個別に議事進行上、しようもないことを送ったとか。

【加藤】 こういうことがありましたよとかいうのは入らないということですね。

【山崎】 そういうものはログには出てこないです。

【加藤】 分かりました。それと同じように、今後いろんなイベントの場合もそうですけれども、今日のようなやり方ではなくて、例えばウェビナーでやる時とか、違ったシステムでやる時に、チャットに相当するものが、場合によっては技術的に公開しにくいというようなことはないのでしょうか。これは全て技術的なことを聞いているのですが、事務局で、やはりいつも山崎さんに負担がかかったり、間違いを起こしてしまったりとか、そういうことがないかだけなんですけどね。

【山崎】 ウェビナーの場合もチャットは使えます。というか、使えるように設定はできます。

【加藤】 そうですよ。ただ、ウェビナーで質問というのを、事務局だけに見せるようなやり方もありますよね。

【山崎】 ウェビナーの場合はQ&Aシステムが別にあるので、よくありがちなのが、チャットは殺してQ&Aだけを使っているというウェビナーは多いですけども。

【加藤】 そうですね。

【山崎】 我々のチームの場合は、そもそもウェビナーは。

【加藤】 あまり使わないですものね。

【山崎】 最初、使ったけど、ウェビナーにすると、パネリスト同士が手を挙げられないとか、インタラクションに欠けるので、もうミーティングだけというふうにした経緯がありますので、あまりウェビナーの件は、今のところは心配なくていいのかなという気はいたします。ウェビナーにする場合は、もっといろいろ設定ができて、事務局とパネリストだけにチャットを送ることができるように制限するとか、全員が全員にチャットを送るようにもできますし、いろいろ設定はできます。

【加藤】 ありがとうございます。その前提で、先ほど実積先生からかなりクラリファイしていただいたので、私も大分よく理解できたのですが、まず全員に当てたチャットは、今の山崎さんのコメントどおりで、それを記録に取って公開することは技術的に可能であるという前提で、公開はするけれども、それで議事録に反映するかどうかについては、チャットで書いたものが議事録に反映していないなどということが議論にならないように、議事録に反映するような発言は口頭で発言するという御提案ということで、実積先生、よろしいんですね。ただ、記録としては、チャットも記録すると。それで、過去分はもう今さら公開するというふうには言わないで、今後は全員向けのチャットは公開すると。ただ、議事録に反映するのは、口頭での発言を議事録の決議に反映するという御提案ですよ。

【実積】 はい。そうしないと、本当は駄目なんでしょうけど、ながら参加している人は全く議論についていけなくなってしまいますし。

ただ、懸念するのは、聾啞者の方が参加されているときにどうするかという対応だけが少し気になるところで。その人はテキストしかできないんですけど、その場合は事務局のほうで少しサ

ポートして、読み上げるなりして周知するという対応は必要かもしれませんが、基本的には、チャットのものに関しては議事録に反映しない。非公式の発言として扱うのがいいかなと思います。

【加藤】 ありがとうございます。私は、今の御提案は非常にクリアでリーズナブルに聞こえたのですが、皆さん、御意見はありますか。

私も、多分堀田さんがおっしゃった意味も、基本的にいろんなところで発言というか、チャットも、ある意味の発言だとしたら、そこで意見を書くようなチャットもあると思うので、それは原則公開するという考え方は、活発化チームの考え方に沿うのかなと思います。ただ、現実それをきちんと議事録に残すような、議論にそのまま反映できるということを確認していくということは、多分、参加の仕方によっては、チャットをうまく読めないとか、いろんな方がいらっしゃるかもしれないので、その辺も含めて、ちょっと無理があるかなと思いますので、議論の決議に関わるようなこととか議事録に落としていくようなことについては、誰かがチャットを読み上げて、こういうのがありますよということでもいいかなと思いますが、そういう形で発言したものにすると。それで、今の聾啞者については、読んでくださいと一言書いていただくなり、何かそういうサポートをするということかだと思います。

実積先生、そういうことでよろしいでしょうかね。

【実積】 ありがとうございます。

【加藤】 もしよろしければ、今申し上げたようなことで今後チャットは使われますということ、この会として、それもきちんと議事録に残して、今後そういうふうを活用するというのでいかがでしょうか。実際のところは、チャットで全員に書いているのも、こういうところが参考情報ですよとか、こういうのが今の話の関係でありますよとか、そういう、サイド情動的な活用をされている方が多いと思うんです。そこで自分の意見を主張して、何もしゃべらないという方は少ないと思うので、今言われたようなことで、特にあまり弊害はないのかなと思いますが、いかがですか。

堀田さん、さっきちょっと、私は堀田さんのニュアンスと、これで今申し上げたことで合っているかどうか、いかがですかね。

【堀田】 合っています。

【加藤】 ありがとうございます。ということで、私が何かもう勝手に整理しちゃいましたけど、もし実積先生も堀田先生もよろしいのであれば、ほか、皆さんいかがですかね。

【前村】 前村なのですが、この場の議論として、私もそういう扱い方が妥当だと思っていますが、この点を御指摘なさった方は、それでオーケーになりそうなんですかねというのはちょっと気になって。この場で、いらっしゃらないところでこういう議論をしていて、恐らくはチャットも公開しますということで、皆さん、これから、そういうふうなことで御認識いただいでやっていただくのであれば、それでいいということになるのかなと想像はするのですが。

【加藤】 もし付け加えるのであれば、どうしても参加できないけれどもメールなりで書くというのは、普通のルールではないでしょうかね。だから、それについて自分の発言の機会がなく

なったとか、自分の意見が全く無視されたというのは、ちょっと無理があるのかなというふうに。もし、そういう批判があるとしたらね。当日どうしても出られないなら、メールで、これが意見で、ぜひ当日反映してくださいと書いていただくなり、同じようにチャットでも、今どうしても言葉がしゃべれない、耳しか使えないんだけどというふうに書いていただいたら、それを読み上げてくださると、さっきの聾啞者の方のことと同じなのでね。それで対応するのが公平なのかなという気がしますけど、いかがでしょう。

【前村】 私もそれが妥当だと思います。というのが分かっていただけなのかというのが、ちょっと不安になったという。

【加藤】 これはもう、この場の決議ということで結構なのではないかと思います。

【前村】 失礼しました。

【加藤】 ありがとうございます。ちょっとこのチャットの件が抜けておりました、いい議論ができたと思います。

【山崎】 すみません。3番目の、「議事進行上、チャットは全て発言とみなす」という。

【加藤】 発言というか、ごめんなさい、チャットは全て公開すると書けばいいんじゃないですかね。全員向けのチャットは全て公開しますと。

【山崎】 分かりました。

【加藤】 「発言とみなす」というと、ちょっとさっきの趣旨と違うので、全て公開しますと書いていただければいいんじゃないですかね。「議事進行上」という、3つ目のポチの、「チャットは全て発言とみなす」というのをちょっと変えていただいて。その上のところですね。丸の3つ目の「議事進行上」というところ。

【山崎】 だから、これはこうではなくて……。

【加藤】 そうです。それはそうではなくて、全員向けのチャットは公開しますと。そういう趣旨が分かれば結構だと思います。

よろしいでしょうか。何か、さらに忘れた議題とかございますか。

では、もしなければ、これで今日はお開きにしたいと思います。

【山崎】 あともう一点だけ。チャットについては、ですからこれを議事録に書きましたので、ラストコール期間でメーリングリストで確認次第、正式に決まるということですよ。

【加藤】 そうですね。

では、特にもしこれ以外になれば、今日はこれで終了させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。では失礼します。

【山崎】 どうもありがとうございました。